＜報道資料＞

報資―２６―１５
２０２６年１１月

横浜・八景島シーパラダイス

鰭脚類を見て、くらべて、魅力を体感できる新展示！

オタリア・カリフォルニアアシカ 飼育展示開始

【2026年12月1日(火)～】

『横浜・八景島シーパラダイス』の水族館「アクアミュージアム」では、２０２６年１２月１日（火）より、鰭脚類（ききゃくるい）である「オタリア」と「カリフォルニアアシカ」の飼育展示を開始します。
鰭脚類は、海での生活に適応し、ひれ状の四肢をもつ哺乳類で、セイウチ科・アザラシ科・アシカ科の３科に分かれます。アクアミュージアムでは、すでに飼育展示しているセイウチ（セイウチ科）とハイイロアザラシ（アザラシ科）に加えて、新たにオタリア（アシカ科）、カリフォルニアアシカ（アシカ科）の飼育展示を開始することで、鰭脚類３科をご覧いただけます。
オタリア、カリフォルニアアシカは、アクアミュージアム１Ｆでセイウチがくらしている水槽の隣で飼育展示を行い、オタリア、カリフォルニアアシカ、セイウチを間近で見比べながら、同じ鰭脚類でも、それぞれの魅力、体の特徴、生態、動きの違いなどを体感いただけます。
さらに、鰭脚類３科を飼育展示するエリアでは、鰭脚類が海でのくらしに適応し、陸上でもくらす特徴に焦点をあて、オタリア、カリフォルニアアシカ、セイウチ、ハイイロアザラシの展示を通じて、鰭脚類の生態や魅力にふれるきっかけをお届けします。
今後においても当施設では、「生きものを通じて世界に笑顔と感動を」のコーポレートスローガンのもと、すべてのお客さまに笑顔溢れる体験や感動する機会をはじめ、生きものの魅力や生態などについて知っていただく機会を提供してまいります。



オタリア



カリフォルニアアシカ

＜この資料に関する報道関係各位のお問合せ＞
『横浜・八景島シーパラダイス』　広報担当／長谷川・武井
TEL ０４５－７８８－９６３１　FAX ０４５－７８８－９７３５
mail：hkj-kouhou@seibugroup.jp

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

オタリア・カリフォルニアアシカ
2026年12月1日(火)より飼育展示開始

水族館「アクアミュージアム」では、２０２６年１２月１日（火）より、鰭脚類である「オタリア」と「カリフォルニアアシカ」の飼育展示を開始します。
アクアミュージアムでは、すでに飼育展示しているセイウチ（セイウチ科）とハイイロアザラシ（アザラシ科）に加えて、新たにオタリア（アシカ科）、カリフォルニアアシカ（アシカ科）の飼育展示を開始することで、鰭脚類３科をご覧いただくことができ、鰭脚類の生態や魅力にふれるきっかけをお届けします。
オタリア、カリフォルニアアシカは、アクアミュージアム１Ｆでセイウチがくらしている水槽の隣で飼育展示を行います。隣同士の水槽で、オタリア、カリフォルニアアシカ、セイウチを間近で見比べながら、同じ鰭脚類でも、それぞれの魅力、体の特徴、生態、動きの違いなどを体感いただけます。


オタリア


カリフォルニアアシカ


セイウチ


ハイイロアザラシ

・鰭脚類3科を見ることができる展示
豊富な餌を求めて海でのくらしに適応した鰭脚類ですが、オタリアやセイウチなど鰭脚類の多くは陸上で出産し、天敵に襲われる可能性が低い陸上でも過ごします。
鰭脚類３科を展示するエリアでは、海でのくらしに適応し、陸上でもくらす鰭脚類に焦点をあて、鰭脚類の生態や魅力にふれるきっかけをお届けします。

・鰭脚類の動きを間近で観察
水中での泳ぎ方や、陸上での過ごし方など、鰭脚類ならではの動きを間近で観察できます。

・隣り合う展示で見比べる楽しみ
セイウチを飼育展示している水槽の隣にオタリア、カリフォルニアアシカの飼育展示が加わることで、同じ鰭脚類でも顔立ちや体格、しぐさの違いなどに気づく観察の楽しみが広がります。

【オタリア・カリフォルニアアシカ・セイウチ・ハイイロアザラシ 展示エリア】
場　所：アクアミュージアム１Ｆ
時　間：アクアミュージアムの営業時間に準じます
※生きものの体調などにより、展示時間の変更または展示を中止する場合がございます。